

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科   | 柔道整復師学科 |                     | 科 目 区 分   | 専門分野 | 授業の方法                          | 実習            |
|---|---------|---------------------|---|------|--------------------------------|---------------|
| 科 目 名   | 柔道整復実技Ⅷ |                     | 必修/選択の別   | 必修   | 授業時数(単位数)                      | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年   | 3年生     |                     | 学期及び曜時限   | 後期   | 教室名                            |               |
| 担 当 教 員   | 林 了大    | 実務経験と<br>その関連資格     | 接骨院の院長(柔道整復師)として、1999年～2014年勤務経験あり。<br>公益法人兵庫県柔道整復師会 阪神南支部の役員を2008年～2014年まで務めた。 |      |                                |               |
| 《授業科目における学習内容》  |         |                     |   |      |                                |               |
| 柔道整復実技には診察および整復・検査の能力と固定の能力、包帯の能力、口述の能力がある。<br>認定実技審査整復31項目の実技                                  |         |                     |   |      |                                |               |
| 《成績評価の方法と基準》  |         |                     |   |      |                                |               |
| 1. 学内認定実技試験(10/30):100%   |         |                     |   |      |                                |               |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》   |         |                     |   |      |                                |               |
| 包帯、固定材料<br>柔道整復学理論編(柔道整復学校協会編集)<br>柔道整復学実技編(柔道整復学校協会編集)<br>一般臨床医学(柔道整復学校協会編集)<br>適宜資料の配布を行う     |         |                     |   |      |                                |               |
| 《授業外における学習方法》   |         |                     |   |      |                                |               |
| 柔道整復理論の骨折・脱臼・軟部組織損傷の各項目を確認し、まとめておくこと。   |         |                     |   |      |                                |               |
| 認定実技審査合格に向けて、クラス一丸となって練習に取り組んでください。練習量が合格に直結します。術者だけでなく、交代で患者役、助手役をすることで理解はより深まります。協力して練習しましょう。 |         |                     |   |      |                                |               |
| 授業の方法   | 内 容     |                     |   | 使用教材 | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容          |               |
| 第1回   | 実習形式    | 授業を<br>通じての<br>到達目標 | 鎖骨骨折、肩鎖関節脱臼の整復法が行えるようになる。   | プリント | 柔道整復理論<br>鎖骨骨折<br>肩鎖関節脱臼の復習    |               |
|   |         | 各コマに<br>おける<br>授業予定 | 鎖骨骨折整復法、肩鎖関節脱臼整復法   |      |                                |               |
| 第2回   | 実習形式    | 授業を<br>通じての<br>到達目標 | 上腕骨外科頸骨折、肩関節脱臼の整復法を行えるようになる。  | プリント | 柔道整復理論<br>上腕骨外科頸骨折<br>肩関節脱臼の復習 |               |
|   |         | 各コマに<br>おける<br>授業予定 | 上腕骨外科頸骨折整復法、肩関節脱臼整復法  |      |                                |               |
| 第3回   | 実習形式    | 授業を<br>通じての<br>到達目標 | 肘関節脱臼、コーレス骨折の整復法を行えるようになる。  | プリント | 柔道整復理論<br>肘関節脱臼<br>コーレス骨折の復習   |               |
|   |         | 各コマに<br>おける<br>授業予定 | 肘関節脱臼整復法、コーレス骨折整復法  |      |                                |               |
| 第4回   | 実習形式    | 授業を<br>通じての<br>到達目標 | 各整復法を行えるようになる。  | プリント | 柔道整復理論<br>各項目の復習               |               |
|   |         | 各コマに<br>おける<br>授業予定 | 自由練習  |      |                                |               |
| 第5回   | 実習形式    | 授業を<br>通じての<br>到達目標 | 各検査法を行えるようになる。  | プリント | 柔道整復理論<br>各項目の復習               |               |
|   |         | 各コマに<br>おける<br>授業予定 | 検査法の復習1   |      |                                |               |

| 授業の方法 |      | 内 容         |                           | 使用教材   | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---------------------------|--------|-----------------------|
| 第6回   | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 各検査法を行えるようになる。            | プリント   | 柔道整復理論<br>各項目の復習      |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 検査法の復習2                   |        |                       |
| 第7回   | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 各検査法を行えるようになる。            | プリント   | 柔道整復理論<br>各項目の復習      |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 検査法の復習3                   |        |                       |
| 第8回   | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 各検査法を行えるようになる。            | プリント   | 柔道整復理論<br>各項目の復習      |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 自由練習                      |        |                       |
| 第9回   | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 柔道整復師として必要となる視診を理解できる。    | 一般臨床医学 | 今回の予習                 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 問診と視診①                    |        |                       |
| 第10回  | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 柔道整復師として必要となる体型、姿勢を視診できる。 | 一般臨床医学 | 前回の復習と今回の予習           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 問診と視診②                    |        |                       |
| 第11回  | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 柔道整復師として必要となる精神状態を視診できる。  | 一般臨床医学 | 前回の復習と今回の予習           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 問診と視診③                    |        |                       |
| 第12回  | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 柔道整復師として必要となる異常運動を視診できる。  | 一般臨床医学 | 前回の復習と今回の予習           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 問診と視診④                    |        |                       |
| 第13回  | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 柔道整復師として必要となる歩行を理解を視診できる。 | 一般臨床医学 | 前回の復習と今回の予習           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 問診と視診⑤                    |        |                       |
| 第14回  | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 柔道整復師として必要となる皮膚の状態を視診できる。 | 一般臨床医学 | 前回の復習と今回の予習           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 問診と視診⑥                    |        |                       |
| 第15回  | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 柔道整復師として必要となる頭部、顔面を視診できる。 | 一般臨床医学 | 前回の復習と今回の予習           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 問診と視診⑦                    |        |                       |